

作業帯明示し安全に

森山地区舗装工事現場 で佐藤渡辺の石井社長

佐藤渡辺の石井直孝社長は7日、国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所発注の「森山地区舗装工事」の現場で安全パトロールを行った。写真。石井社長のほか、東北支店の佐藤透支店長、藤原裕技術顧問、大西真安全環境部長、石川営業所の加賀谷壮史所長が参加した。

パトロールは、全国労働衛生週間準備期間の取り組みの一環で、経営トップによる労働者の健康の確保と快適な職場環境の形成を図ることを目的とし、進捗（しんちよく）状況と安全衛生管理活動を確認した。

佐藤支店長は「作業スペース確保のため、工事区間内を規制材で切り回しており、昼間は工事もあって確認できる状況だが、夜間も



電光表示や点滅灯の状況を確認し、一般車両が安全に通行できる状況を確認すべく安全管理の徹底を」と指示した。

石井社長は講評で「作業指示、安全指示が適切に実施されており、安全に作業が行われていることを確認した。今後、供用までの間、必要な保安施設を設置し、一般車両や歩行者に対して作業帯を明確に明示するように。新規入場者教育をしっかりと行い、現場の注意事項を適切に指導し、無事故・無災害で完成させてほしい」と呼び掛けた。

